【JAKEHS　2022年度第2回西ブロックモイム　7月17日（日）】議事録

場所：大阪韓国教育院

【対面参加者　10名】李貞榮　李鉉淑　狩野智美　川上知美　金ミンソン

金志永　神農朋子　藤村直哉　梁千賀子　柳美善

【Zoom参加者　12名】鄭一珠　山下誠　松森南風　丁恩淑　小高理子

愼賢貞　吉井吏　任喜久子　左美和子　呉聖姫

（金安梨　咸　璟美　/李鉉淑先生発表に参加）

「多様な目標言語話者との対話から『言語・国・人・文化』を問い直す」発表と質疑応答

・李鉉淑先生

〇この発表に至ったのは・・・
李が韓国内で受けていた反共教育の影響で来日後、朝鮮学校出身の人と接したとき、なまりに違和感を覚えていたこと、また、韓国から来た高校留学生も在日コリアンの存在についての知識背景がなく、彼らとの言語・文化の衝突の原因を「〇〇人、〇〇語」といったところで探し、文化本質主義的視点が強く見られた経験から、大学の初級韓国語の授業を通して学習者が目標言語話者とみる「韓国人」の多様性について可視化する実践を行った。活動は、「多様なコリアンと出会う」というビジターセッション活動で多様な目標言語話者3人（朝鮮族、高麗人、在日コリアン）が参加し、学習者からの問いから家庭内の言語使用や民族、アイデンティティなどについて対話を行った。

〇発表より
【理論的背景】：社会構成主義、言語教育と多様性
【問題提起】：様々な背景を持つ多様な学習者が存在しているが、その背景を考慮した教材・カリキュラムは存在しない➡韓国語教師及び学習者には「多様な目標言語話者」及び「多様な学習者」の意識化が求められるのではないか。
【実践概要】：「多様な目標言語話者」および「多様な学習者」を可視化する試み
【授業の実際】：「多様なコリアンと出会う」
【成果及び今後の課題】：時空間を超えた学び場の提供、多様性への気づき、様々なルーツをもつ学習者の自己開示及びエンパワメント（Kさんは、在日朝鮮人として誇りをもって生きていいのだと思うきっかけになった）継続的取り組みを可能にするためには？評価（非認知能力）、日韓関係・外国人問題との関連
（李鉉淑先生より）
「授業内の同じクラスに多様な言語的背景を持った生徒同士が参加できてよかった。また、そのような学習者を可視化できてよかった。今回の実践は、学習者の意識の変化だけではなく、韓国語・韓国文化への学習モチベーションにつながったとみられる。今後学習者の意識の変化及び変容についてより着目していきたい」

（実際に授業を受けていたＫさんより）
「韓国語の授業で文化について触れた事がなくて、高麗人の話とかも、より興味を深く持てた。教室の友人とも、より深く関係を築けたのもよかった」

・質問
Q　：　授業の中では韓国系学校と紹介していたが、自身の紹介する場面とかで、朝鮮学校出身であるという言うことに抵抗とかはなかったですか？
A　：　高校卒業してから大学入学時に自己紹介をするときの名が韓国名なので「韓国人？」とか聞かれるのですが、その時に出身学校の説明をするのですが、その時に色んな考え方をする人がいるの

で、怖い部分はあったのですが、授業を受けてだんだん不安はなくなっていき、今韓国に留学して（その事に）自信を持てたかなと思います。

オンライン国際交流発表（藤村直哉先生、吉井吏先生、松森南風先生）と質疑応答

・藤村直哉先生
　〇韓国・台湾での河川調査での交流
　　・当初韓国との交流であったが、北朝鮮のミサイル発射問題受け韓国への渡航が厳しい時に台湾との交流がはじまる契機になった。
　　・2021年の紹介ではエネルギーの多様性・気候変動についての話をしてもらう
　　・英語での交流であった為、フィリピンの生徒がまとめてくれた
　　・学校の体制作りはうまくできたのではないか？
・吉井吏先生
　〇授業時間内での韓国の学校とのオンライン交流
　　・6月23日　端末2台での実施（以前は複数の端末を使用しての実施だったが、マイクのハウリングがひどく今回は2台）
　　・韓国語初級学習者で、ほとんどの生徒がK-POPに関心がある。相手先の高校にも日本のアニメが好きな生徒がいて、交流の一つのツールになった。
　　・以前全国研修で発表されたアクティブラーニングのルーブリックを参考に生徒たちに考えさせた
　　・一つの学校と末永く交流できる体制づくりができたのがよかった。
・松森南風先生
　〇町田総合高校とウンチョン（웅천）高校とのオンライン交流
　　・1年目クリスマスカードの交換交流
　　・2年目ZOOMでのオンライン交流、自己紹介カードの交換（ジャムボードやパドレット等の使用）継続して、クリスマスカードや年賀状の交換も実施
　　・今年度3年目の実施に向けて・・・日程の早期決定（バイトの有無や生徒のスケージュール管理のため）、事前学習日の設置（毎回参加する生徒が少ない事もあるので）、参加生徒は20名に限定（あまりに多人数だと管理が難しい）

全国研修会　テーマ・内容について

　〇テーマ
テーマ１（世話人から）方政雄氏の小説から学ぶこととは？
テーマ２　観点別評価やノウハウについて
テーマ３　オンライン交流に向けて

小モイムについて

　〇編成について
　・休部しているところもあり、整理や編成について考える
　・何か設立希望はありますか？

連絡

2022年度より　大阪市立高校は全て大阪府立学校へ移管したが、それに伴い制度が変わり、朝鮮語の免許を持っている講師を大量に探す必要が出てきた。免許を持っていることを講師採用の絶対条件にすると韓国・朝鮮語の授業が大阪府下では回らなくなり、韓国・朝鮮語の授業を各学校が開講・開設したくてもできなくなる現実を目の当たりにすることになる。現在、府教育委員会に対応の準備や要望を打診している。

・次回の西ブロックモイム：9月11日（日）14時～（Zoom+対面）

・全国研修会：11月26日（土）（Zoom+対面）